

free が 33.5 億円の追加増資を実施し、累積資金調達が 96 億円に 人工知能技術の開発への注力および 「クラウド ERP」としてのユーザー体験強化を目指す

free 株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役：佐々木大輔、以下 free）は、トヨタ自動車株式会社と株式会社三井住友銀行を主要投資家としスパークス・グループ株式会社が運営者の「未来創生ファンド」を中心とする複数のファンドおよび事業会社を引受先とし、33.5 億円の第三者割当増資を実施することをお知らせいたします。今回の調達により、創業以来の累積資金調達額は 96 億円となります。今後 free は人工知能（AI）を活用したサービスの開発・強化および中堅規模法人向けサービスの強化に注力し、より多くのスモールビジネスが最新技術を活用し、本業に集中できる社会の実現を目指してまいります。

■ 今回の資金調達の引受先

今回の増資の引受先は以下の 8 つのファンドおよび事業会社です。

- ・ 未来創生ファンド（トヨタ・三井住友銀行を主要投資家とする計 17 社が出資 ※2016 年 11 月 30 日現在）
- ・ DCM Ventures
- ・ SBI インベストメント（「FinTech ファンド」を中心とする複数のファンド）
- ・ Salesforce Ventures
- ・ 日商エレクトロニクス株式会社（双日グループ）
- ・ 日本生命保険相互会社
- ・ ちばぎんキャピタル株式会社
- ・ Japan Co-Invest

■ 直近の事業の動き

free は 2012 年 7 月の創業から 4 年半で、人工知能技術をベースとした自動仕訳機能の開発等、事業の中核となる技術とサービスを確立し、結果としてクラウド型会計ソフトおよび給与計算ソフトのシェアで No.1 となりました(注 1)。また 2016 年 12 月現在、3,630 件の金融機関口座やクレジットカード口座との同期連携を実現し、17 の金融機関とはクラウド会計ソフトのデータを利用した融資（ジャパンネット銀行、横浜銀行）や API 接続・振込機能連携の共同検討（住信 SBI ネット銀行）、地域の創業支援（北國銀行）など新たな取り組みを進めています。また「free 認定アドバイザープログラム」を通じて全国 3,600 の税理士・会計事務所とのネットワークを構築し、専門家と事業者両方が「本業に集中できる」環境作りに取り組んでいます。

■ 今回の資金調達により今後注力する分野

今回の資金調達により、free は特に、以下の 3 分野への投資を強化してまいります。

1.人工知能（AI）を活用したサービスの開発・強化

2018 年末までの提供開始を目指して、下記の機能を実現する新エンジンの研究開発を行います。これに伴い、大学との共同研究も開始いたします。

- ・「経営分析・未来予測」を AI が行い、経営者の意思決定をアシストする機能
- ・ 経理業務における「作業モレ・ダブリ・ミス」を人工知能が自動で検知し、サービス上で正しい処理を提案する機能

2.中堅規模法人向けのサービスの強化

2016 年 5 月に発表した高付加価値の「ビジネスプラン(注 2)」により、「クラウド会計ソフト freee」はスモールビジネスを営む皆様の細かなニーズにこれまで以上にお応えできるようになりました。今後 freee は従業員 50~500 名の中堅規模法人向けサービスのコンセプトである「クラウド ERP(注 3)」をサービス上でより快適に実感していただくべく、「クラウド会計ソフト freee」での監査対応、および「クラウド給与計算ソフト freee」で労務管理をはじめとする HRtech 機能の開発を進めてまいります。また特にスタートアップ企業など、日本のイノベーションを支えていく存在である中堅規模法人への freee 導入支援を強化すべく、営業組織の拡大を行います。

3. 税理士・会計事務所向け機能およびサポート体制の強化

全国の会計事務所の皆様が顧問先の「リアルタイム経営パートナー」として支援を行うことができるよう、経営分析やリスク分析機能の開発を進めてまいります。また、税理士・会計事務所向けのサポート体制を強化するため、地方支社の増設と人員増強を行ってまいります。

(注 1) 2016 年 8 月 株式会社デジタルインファクト調べ

(注 2) 2016 年 5 月に発表した法人向けのプラン。従来提供してきた月額 1,980 円のプランに対し、月額 3,980 円でご利用いただけます。詳細は下記リンクよりご覧ください。

<https://www.freee.co.jp/price/corporate>

(注 3) freee が 2016 年 5 月より掲げるコンセプト。事業所の基幹システムを統合しクラウド化することで、データ連携やマルチデバイス対応による業務効率化、自由な働き方、システム運用・更新負荷の削減を目指します。



■ free 株式会社について

「スモールビジネスに携わるすべての人が創造的な活動にフォーカスできるよう」をビジョンに掲げ、人工知能（AI）技術を使った最先端の機能開発や金融機関との連携により、バックオフィス業務効率化のソリューションを提供しています。

<会社概要>

会社名 free 株式会社（登記名：フリー株式会社）

代表者 代表取締役 佐々木大輔

設立 2012年7月9日

資本金 96億618万円（資本準備金等含む）

所在地 東京都品川区西五反田2-8-1 ファーストビル9F

<提供サービス>

「クラウド会計ソフト freee」	https://www.freee.co.jp
「クラウド給与計算ソフト freee」	https://www.freee.co.jp/payroll
「マイナンバー管理 freee」	https://www.freee.co.jp/my-number
「会社設立 freee」	https://www.freee.co.jp/launch/
「開業 freee」	https://www.freee.co.jp/kaigyoku
「経営ハッカー」	https://keiei.freee.co.jp/
「起業ハッカー」	https://kigyo.freee.co.jp

<本件に関するお問い合わせ先>

freee 株式会社 経営企画チーム 広報 (PR)
原 晃則 (Akinori Hara) E-mail: pr@freee.co.jp